

Fi / FiK

Fiシリーズ=足踏み式シーラー

FiKシリーズ=頭部可動式足踏み式シーラー

軽い足踏み操作で強力なシーリング

粉末を袋からこぼさずシーリング可能

シール専用	足踏み	シール回数/日 1000~3000袋以下 機種選定目安	組紐 ヒーター 10W/組紐ヒーター専用	シール長さ 20cm 200タイプ	シール長さ 30cm 300タイプ	シール長さ 45cm 450タイプ ※1	シール長さ 60cm 600タイプ	シール幅 2/5mm兼用 Fi/FiK-300	シール幅 2mm幅仕様 2mm幅仕様機	シール幅 5mm幅仕様 5mm幅仕様機	シール幅 10mm幅仕様 10mm幅仕様機	標準 テーブル	特殊 テーブル ※2 オプション	プリンター オプション
-------	-----	-----------------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------------	---------------------------	---------------------------	-----------------------------	------------	------------------------	----------------

※1 450タイプはFiKシリーズのみのラインナップです。 ※2 600タイプでは特殊テーブルが標準で付属します。



Fi-300
標準テーブル取付例
プリンター-FEP-N2
(オプション)取付例



Fi-200-10W
標準テーブル
取付例



Fi-600-2
標準(特殊)
テーブル
取付例



FiK-300
特殊テーブル
(オプション)
取付例

簡単な操作

タイマーで加熱時間を設定し、袋をシール部にセットし、ペダルを踏むとシールができます。設定する加熱時間は包材の種類・厚みなどにより異なります。

豊富な製品バリエーション

Fi、FiKシリーズは多彩な袋の大きさ(幅)、厚さ、材質に対応できる豊富な製品バリエーションを取り揃えています。
シール長さは200、300、450mm、600mm(450mmはFiKシリーズのみ)シール幅は2mm、5mm、10mmの製品があります。
厚さ0.3mm(重ね合わせ合計数値)までの包材のシールができる片側加熱タイプと厚さ0.4mm(重ね合わせ合計数値)までの厚手袋、ラミネート袋に対応できる上下加熱タイプがあります。上下加熱タイプは、厚手袋やガゼット袋などにも対応します。
ガスバリア性包材に脱酸素材を封入することで保存期間を延ばすことが可能です。

多彩なテーブルをご用意

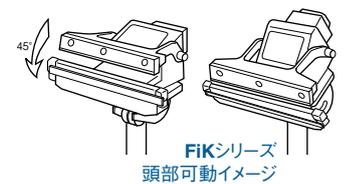
Fi、FiKシリーズはシーラー頭部にセットする標準テーブルと支柱パイプに取り付ける縦サイズが長い袋用の特殊テーブル(オプション)が取り付け可能です。特殊テーブルは標準テーブルより重量のある包装物にも対応します。大袋用のFi-600、FiK-600シリーズは、特殊テーブルを標準テーブルとして装備しています。
詳細は6ページ:「オプション:テーブル」をご覧ください。
取り付け対応製品は7ページの仕様表をご覧ください。

安全装備

万一、ヒーターの過熱が発生した場合(加熱開始後約4秒経過しても加熱が終了しない場合)自動的に電源スイッチがオフ状態になり、ヒーターの加熱を停止します。

FiKシリーズ:頭部可動で粉末などのシールに対応

FiKシリーズはシール部の角度を水平から床面方向へ45°まで変えることができます。シーラー頭部を床面方向へ下げることによって粉末などの包装内容物を袋からこぼすことなくシールすることができます。



FiKシリーズ
頭部可動イメージ

印字器取付可能(オプション)

Fi、FiKシリーズは電子プリンターが取り付け可能です。
詳細は4ページ:「オプション:電子プリンター」をご覧ください。
取り付け対応製品は7ページの対象製品一覧をご覧ください。



Fi-300への
FEP-N2取付例

シール精度を安定させる圧着保持器取付可能(オプション)

Fiシリーズには、シールの仕上がり精度の均一化を図り、ペダルを踏む作業の疲労軽減に効果を発揮する圧着保持器PK-101(オプション)を取り付けすることができます。
シーラーのタイマーでセットできない、インパルスシーラーのシール仕上がりを大きく左右する“冷却時間(=圧着保持時間)”と“フィルムへの加圧力”の設定ができます。
詳細は4ページ「オプション:圧着保持器」をご覧ください。
なお、構造上FiKシリーズにはPK-101が取り付けができませんのでご注意ください。